

2020年3月22日付 韓国環境部プレスリリース

## 京畿道、江原道の野生イノシシからASFウイルス検出 (野生イノシシ407-415例目)

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do;jsessionid=403JS-dqyzSSxYIPMe+TS7cX.mehome1?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1357495&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は3月19日～20日に江原道(カンウォンド)華川郡(ファチョングン)華川邑(ファチョンウプ)および上西面(サンソミョン)、京畿道(キョングド)漣川郡(ヨンチョングン)旺澄面(ワンジンミョン)および漣川邑(ヨンチョンウプ)、坡州市(パジュシ)郡内面(クンネミョン)および津東面(チンドンミョン)で発見されたイノシシ死体9個体からASFウイルスが検出されたと3月22日明らかにした。

□国立環境科学院は3月22日死体9個体からASFウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで華川郡(ファチョングン)163件、漣川郡(ヨンチョングン)154件、坡州市(パジュシ)76件、鉄原郡(チョルウォングン)22件、合計415件のイノシシASFが確診なった。

○野生イノシシASF標準行動指針により試料採取後現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は「今回陽性となった死体は全て広域フェンスの中で発見され、既存感染個体発見地域と近隣しており、この地域では感染死体がさらに出てくる可能性が高く、徹底的に捜索している」と明らかにした。

以上